

有 珠 山

札幌管区气象台
地域火山監視・警報センター

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しました。

○噴火警報・予報及び噴火警戒レベルの状況、2019年7月～2020年6月の発表履歴

変更なし	噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）
------	----------------------------

○2019年7月～2020年6月の活動概況

・噴気などの表面現象の状況（図1-①～④、図2～10）

監視カメラによる観測では、山頂火口原からの噴気の高さは火口縁上概ね100m以下で、噴気活動は低調に経過しました。

2019年8月5日、2020年2月5日（国土交通省北海道開発局及び第一管区海上保安本部の協力による）に上空からの観測を、2019年10月15日から17日に現地調査を実施しました。西山西麓火口群N-B火口の噴気活動は引き続き低調で、赤外線熱映像装置による観測では、2008年以降火口温度の低下した状態が続いています。山頂火口原^{アイ}I火口では、長期的な熱活動の低下傾向が続いています。その他の火口の状況についても、2018年の観測と比較して活動状況に変化は認められませんでした。

・地震及び微動の発生状況（図1-⑤、図11）

火山性地震は少なく、火山活動は低調に経過しました。

火山性微動は観測されませんでした。

・地殻変動の状況（図12）

GNSS連続観測では火山活動の高まりを示すような地殻変動は認められませんでした。

本資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。
<https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/mokuji.html>

この資料は気象庁のほか、北海道大学、国立研究開発法人防災科学技術研究所及び国土地理院のデータを利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 50mメッシュ（標高）』を使用しています（承認番号 平 29 情使、第 798 号）。

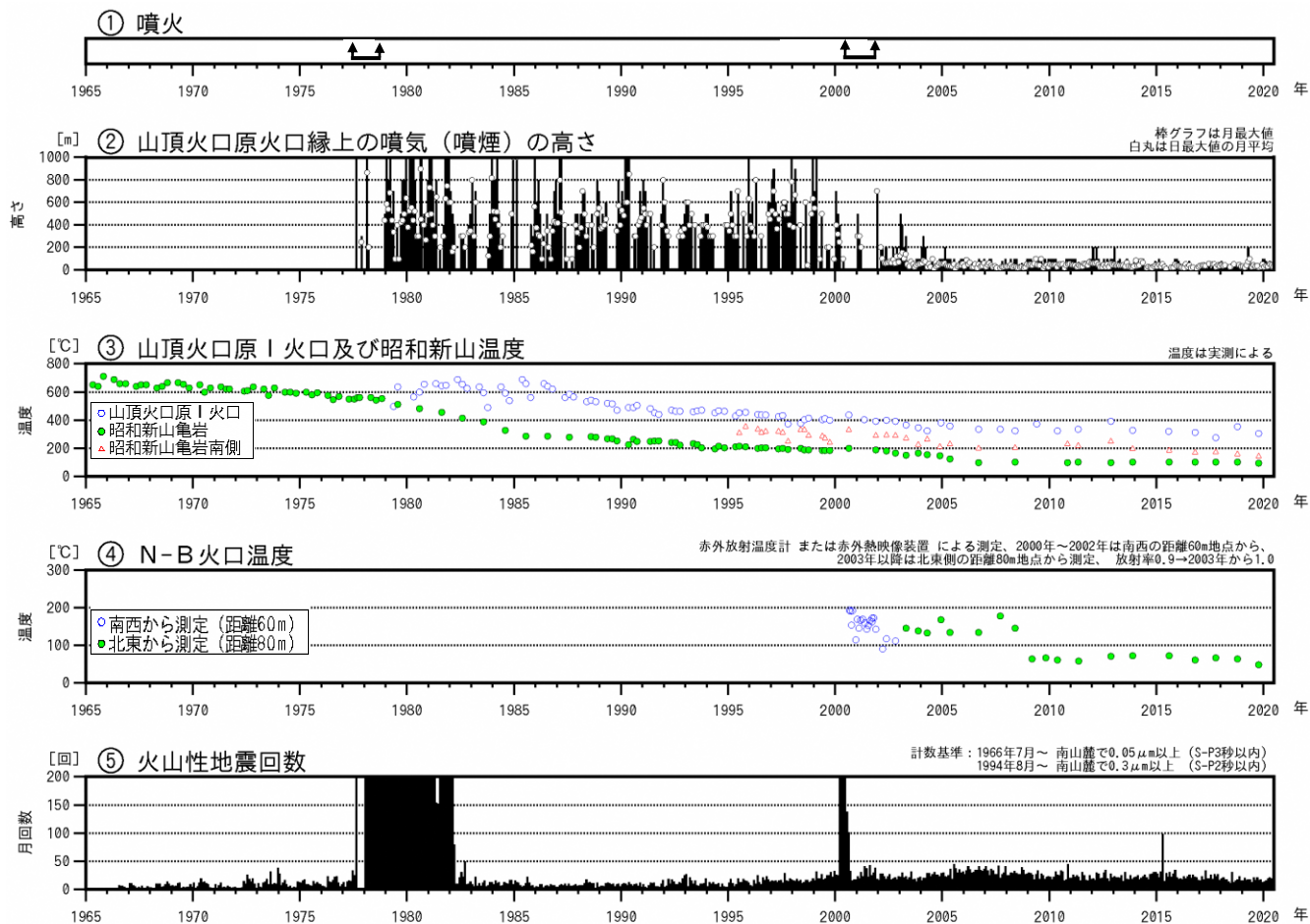


図1 有珠山 火山活動経過図（1965年1月～2020年6月）
↑印で挟まれた期間は噴火活動期を示します。



図2 有珠山 北西側から見た山体の状況（2020年6月23日、月浦監視カメラによる）

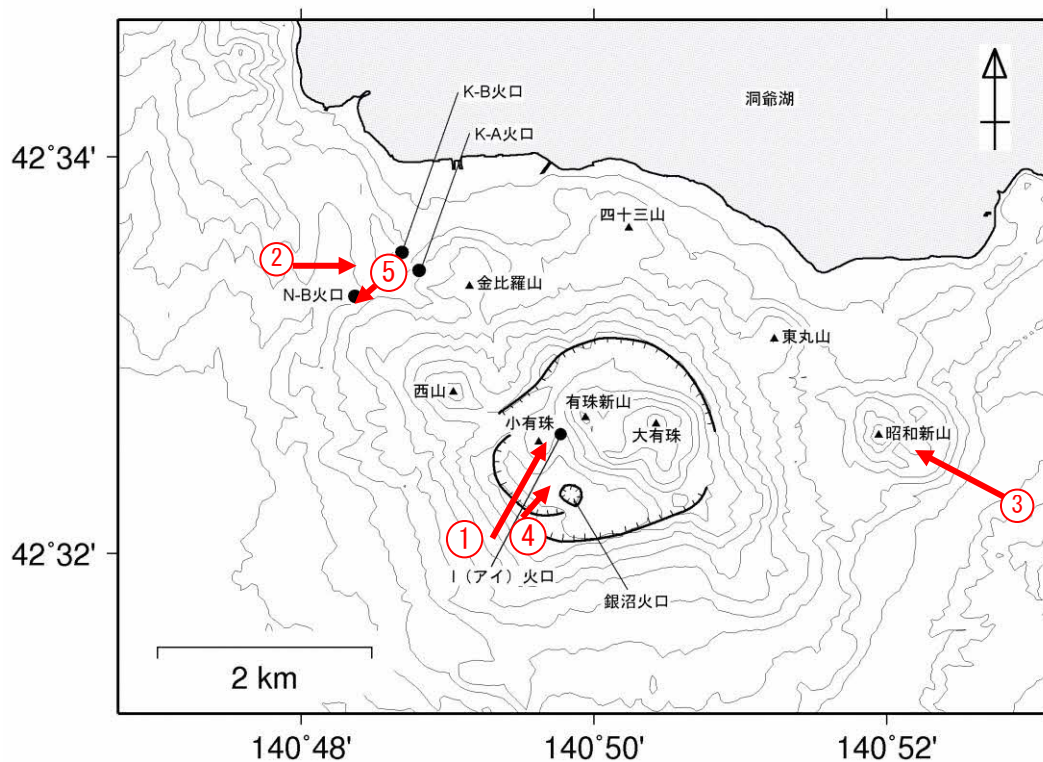


図3 有珠山 火口周辺図と赤外熱映像及び写真の撮影方向（矢印）



図4 有珠山 山頂火口原周辺の状況
南西側上空（図3の矢印①）から撮影



図5 有珠山 山頂火口原周辺の状況
南西側上空(図3の矢印①)から撮影
・ I 火口周辺の噴気の状態に異常は認められませんでした。

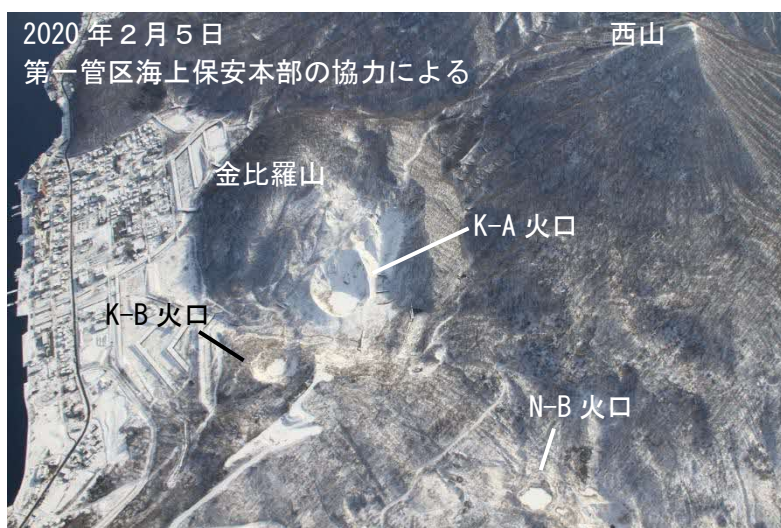


図6 有珠山 金比羅山火口群・西山火口群の状況
西側上空(図3の矢印②)から撮影
・ K-A火口、K-B火口及びN-B火口等において異常は認められませんでした。

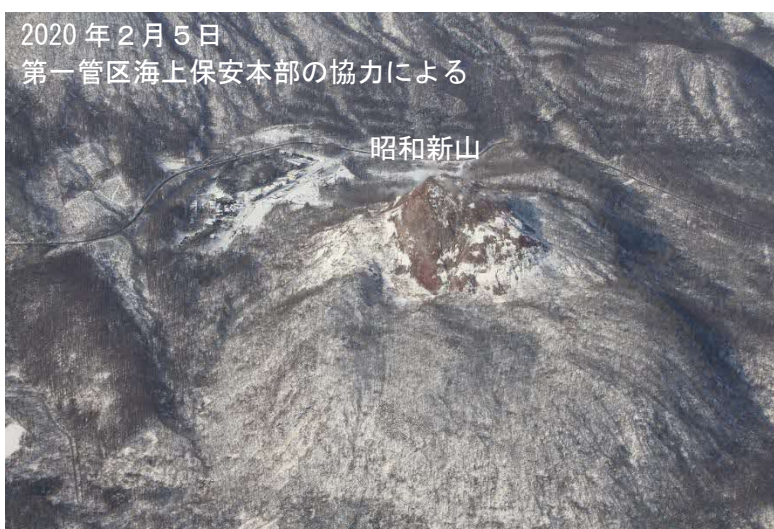


図7 有珠山 昭和新山の状況
南東側上空(図3の矢印③)から撮影
・ 昭和新山周辺の噴気の状態に異常は認められませんでした。

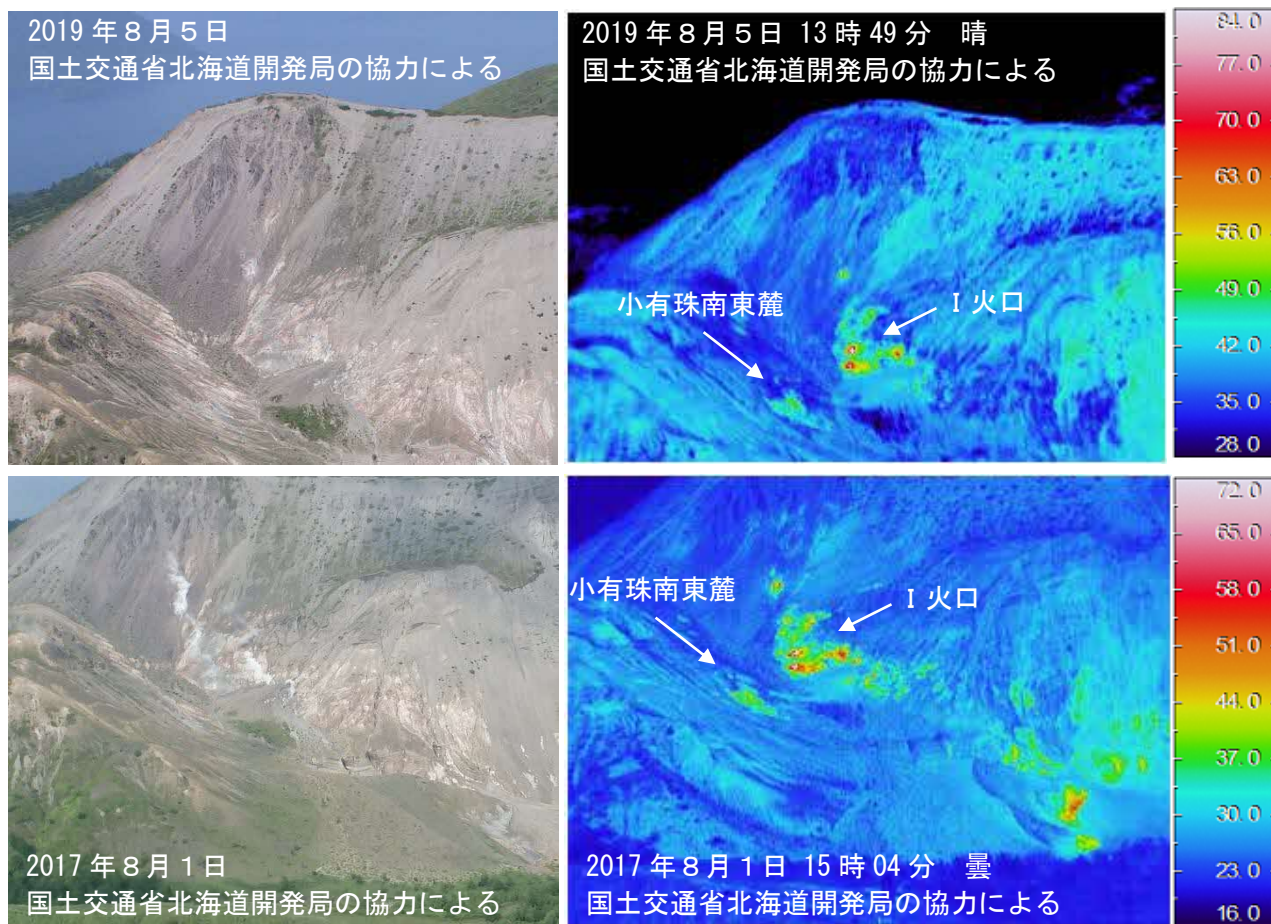


図8 有珠山 赤外熱映像装置による山頂火口原の地表面温度分布
南西側上空（図3の矢印①）から撮影

- ・ I^{アイ}火口周辺の噴気や地表面温度分布の状況に特段の変化は認められませんでした。

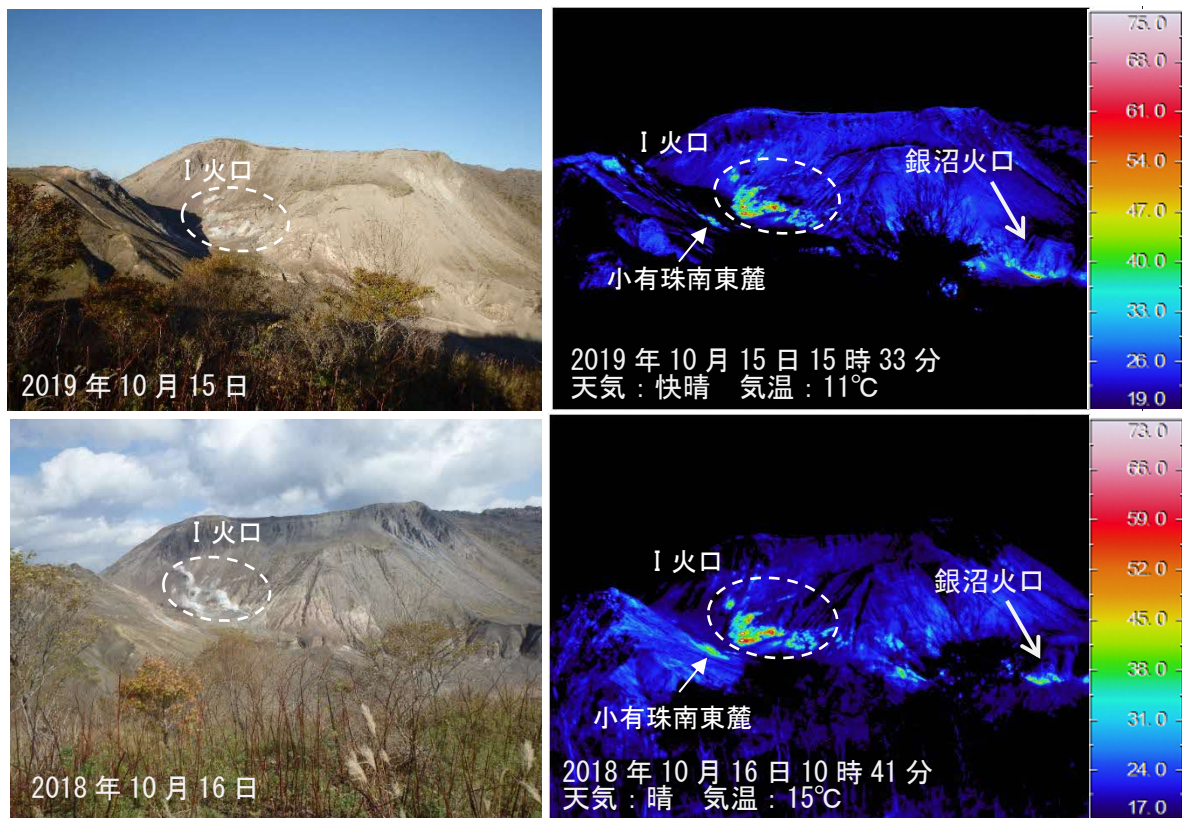


図9 有珠山 赤外熱映像装置による山頂火口原の地表面温度分布
南西側（図3の矢印④）から撮影

・前回（2018年10月16日）の観測と比べて地表面温度分布に特段の変化はありませんでした。

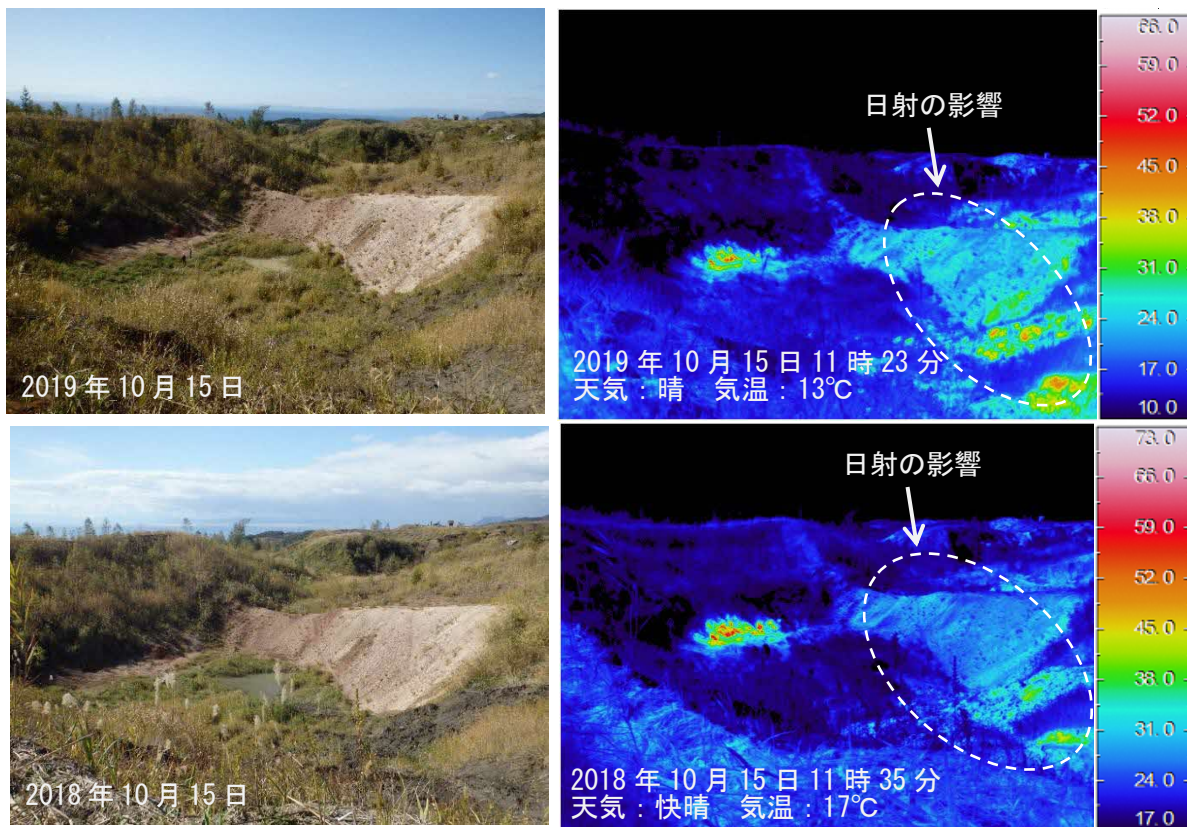


図10 有珠山 赤外熱映像装置によるN-B火口の地表面温度分布
北東側（図3の矢印⑤）から撮影

・前回（2018年10月15日）の観測と比べて地表面温度分布に特段の変化はありませんでした。

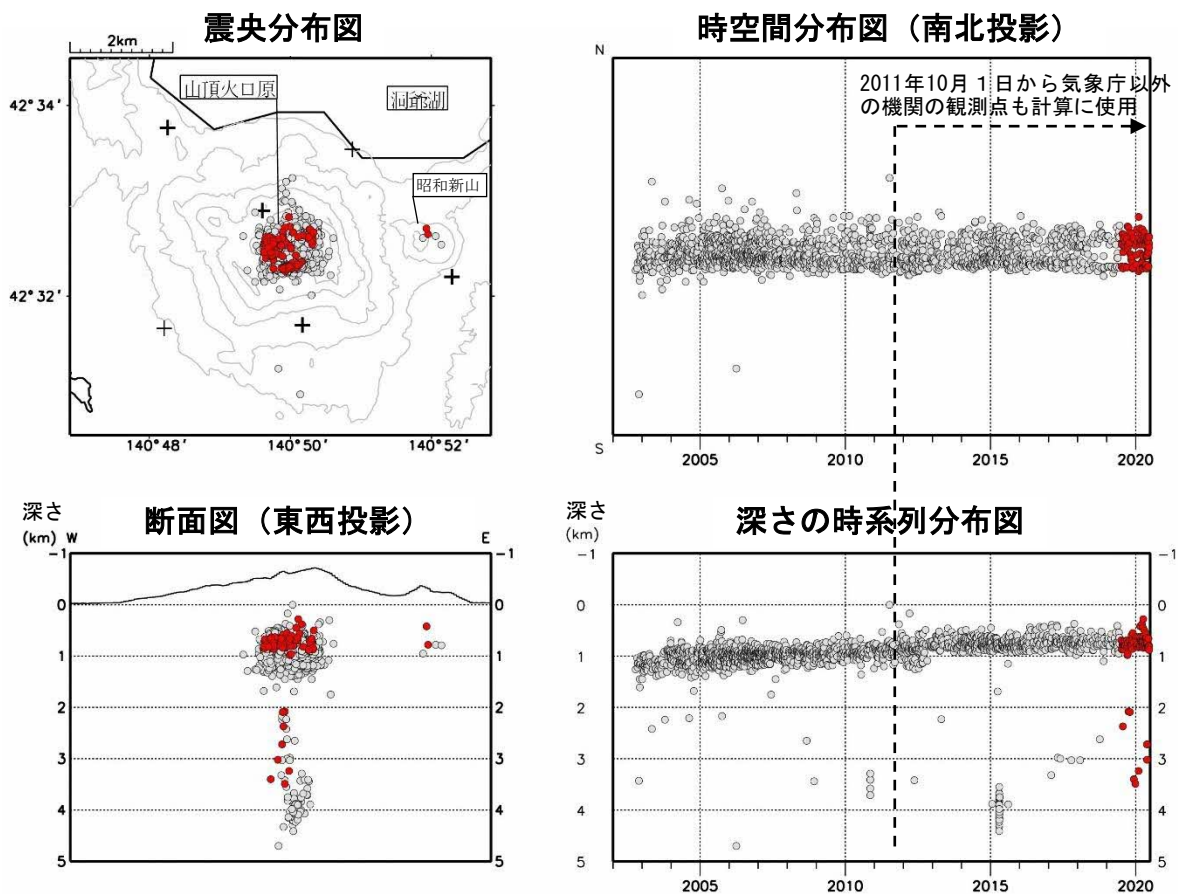


図11 有珠山 火山性地震の震源分布（2002年11月～2020年6月）

- 印：2002年11月～2019年6月の震源
- 印：2019年7月～2020年6月の震源
- +印：地震観測点

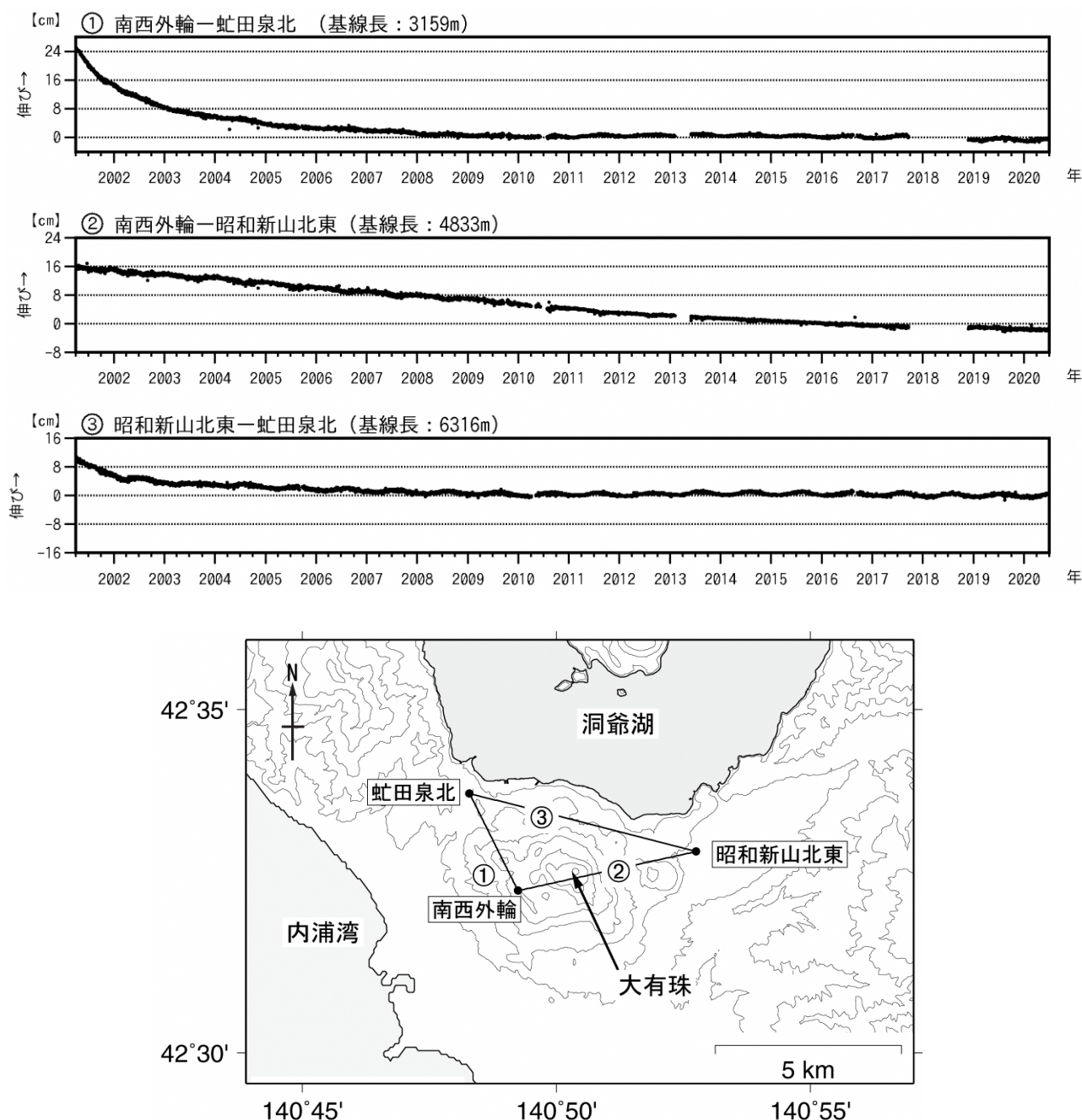


図12 有珠山 GNSS連続観測による基線長変化（2001年4月～2020年6月）及び観測点配置図

GNSS基線①～③は観測点配置図の①～③に対応しています。

GNSS基線の空白部分は欠測を示します。

2010年10月及び2016年1月に解析方法を変更しています。

- ・ 観測開始（2001年）以降、有珠山山頂部を挟む②の基線での収縮は現在も続いています。

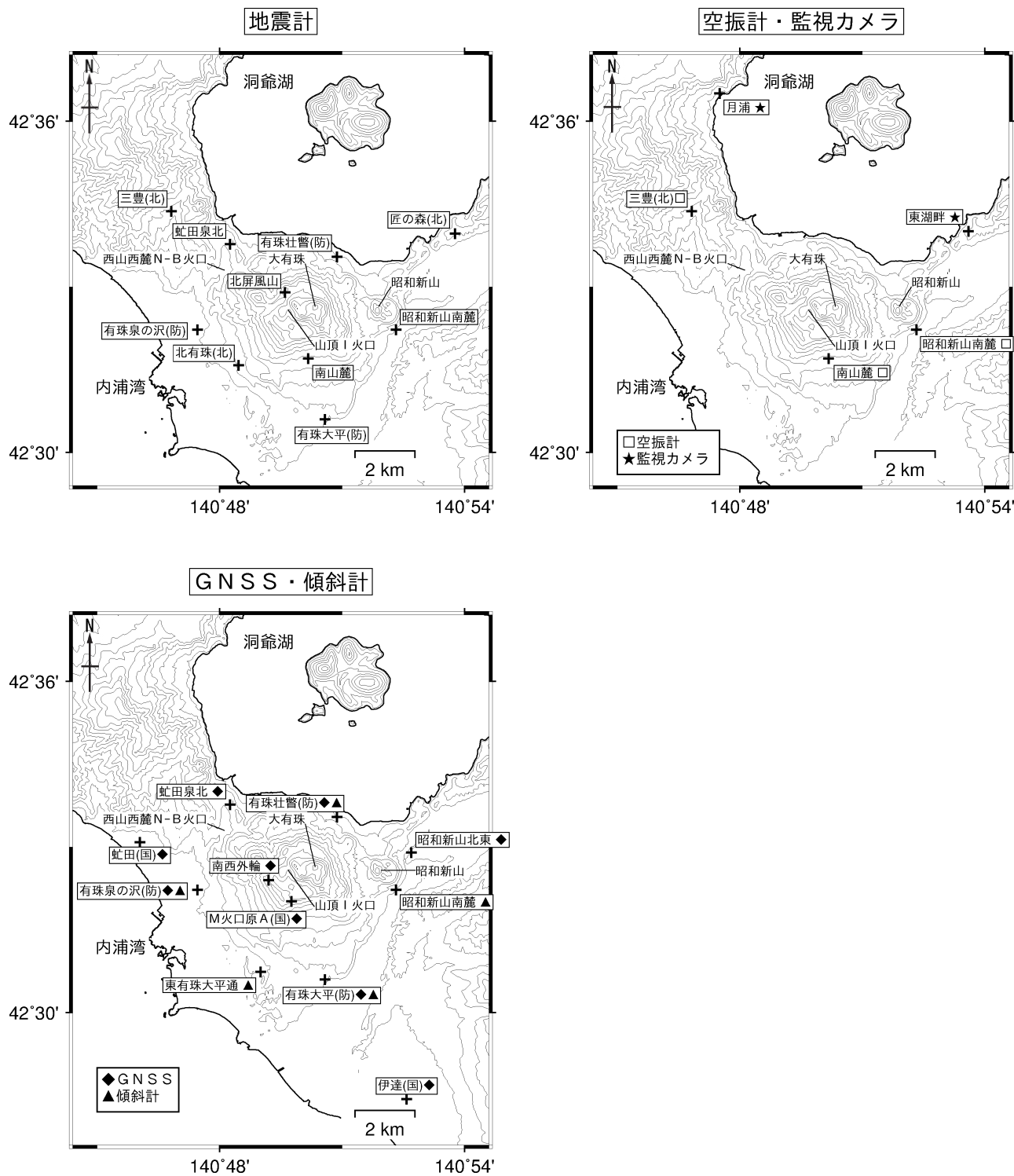


図13 有珠山 観測点配置図

+印は観測点の位置を示します。
気象庁以外の機関の観測点には以下の記号を付しています。
(国)：国土地理院
(北)：北海道大学
(防)：国立研究開発法人防災科学技術研究所